

日田市中小企業振興計画の数値目標・重要業績評価指標（K P I）の達成状況
（平成 2 9 年度分）

●達成状況総括	
K P I 設定項目数	3 1 件
H 2 9 目標 " 達成 " 件数	1 3 件
H 2 9 目標 " 未達成 " 件数	1 8 件
内、達成度 80%以上	9 件
内、達成度 50%以上 80%未満	6 件
内、達成度 50%未満	2 件
内、達成度が測れないもの	1 件

日田市商工観光部 商工労政課・企業立地推進室

表 の 見 方

各年度の単年度の目標値と実績値を掲載しています。

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)								
基本方針	重要業績評価指標(KPI)	現状値		目標値	実績値	達成率	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
4 創業の促進	日田市創業支援事業計画に基づく年間創業者数(件)	8件 (H26年度)	2016(H28)	年間13件	26件	200.00%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等が考えられる。今後も引き続き、創業気運を醸成するためのセミナーや相談支援を強化する。	年間13件
			2017(H29)	年間13件	12件	92.31%		
	日田市ビジネスサポートセンターの支援による創業者数(件)	8件 H28年6月開設	2016(H28)	26件	16件	53.85%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等が考えられる。今後も引き続き、創業気運を醸成するためのセミナーや相談支援を強化する。	5年間で65件
			2017(H29)	13件	5件	38.46%		
			3か年累計	39件	21件	53.85%		
	創業資金の新規融資件数(件数)	1件 (H26年度)	2015(H27)	2件	1件	50.00%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等により、H29年度の創業資金利用者はゼロであった。平成30年度から、創業希望者が利用しやすいよう自己資金要件を廃止した。	5年間で10件
			2016(H28)	2件	3件	150.00%		
			2017(H29)	2件	0件	0.00%		
			3か年累計	6件	4件	66.67%		
	女性若者起業支援資金の新規融資件数(件数)	7件 (H26年度)	2015(H27)	10件	4件	40.00%	平成29年度は飲食業1件、美容業1件の実績であった。引き続き金融機関、支援機関と連携した創業支援を行う。	5年間で50件
			2016(H28)	10件	3件	30.00%		
			2017(H29)	10件	2件	20.00%		
			3か年累計	30件	9件	30.00%		

KPIの欄に「累」とついているものは、3か年累計数を掲載しています。
(H29年度の達成度を累計数で測るため)

H29年度の(「累」の場合は2か年の累計数字による)達成度から、達成・未達成の理由等を記載しています。

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
1	経営基盤の安定強化	日田市ビジネスサポートセンターの年間相談件数（回）	－ H 28年6月開設	2016(H28)	720回	637回	88.47%	中小企業支援コーディネーターの相談体制において、常時2名の体制が確保できなかった期間があったため目標が達成できなかった。 今後も相談体制の確保に努める。	720回
				2017(H29)	720回	641回	89.03%		
		商工会議所・商工会の年間相談・指導件数（件） （うち窓口相談件数）	4,093件 (1,570) (H 26年度)	2016(H28)	4,200件 (1,800)	4,904件 (1,957)	116.76% (108.72)	窓口相談件数は、九州北部豪雨後に積極的な被災地域の事業者支援を重点的に行ったため減少したものの。 今後も、日田市ビジネスサポートセンター等と連携して訪問相談を行う。	4,200件 (1,800)
				2017(H29)	4,200件 (1,800)	4,429件 (1,745)	105.45		
		市の融資制度の年間融資件数（件）	119件 (H 26年度)	2016(H28)	150件	100件	66.67%	九州北部豪雨による低利な県の災害特別融資の利用が多く、市の融資制度の利用が減少した。	150件
				2017(H29)	150件	129件	86.00%		
		市外での物産展等への年間出店事業者数（社）	8社 (H 26年度)	2016(H28)	15社	28社	186.67%	大丸福岡天神店の特設会場やイオン九州の店舗内特設会場等でのイベント開催により、出展者が増加した。 今後も、日田玖珠地域産業振興センターを通して市内の事業者に従事への出店を呼び掛けていく。	20社
				2017(H29)	15社	40社	266.67%		
		日田市アンテナショップ 大丸福岡天神店での年間売上額（億円）	－ H 27年6月開設	2016(H28)	1 億円	1.06億円	106.00%	青果物についてはＪＡおおいたとの連携により、一定量の供給が確保できている。今後もショップの情報を生産者に還元しながら、売上アップを目指していくとともに、加工品等の新商品の提案を行いながら売り場の活性化を図っていく。	1 億円 (H 29年度)
				2017(H29)	1 億円	1.08億円	108.00%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
2	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出	商店街の平均空き店舗率 (%)	12% (H26年)	2016(H28)	12%	15%	未達成	チャレンジショップを利用した創業は一定数あるものの、廃業等により空き店舗数の改善は図られなかった。今後は、商店街関係者等との協議を行い、チャレンジショップによる補助制度について見直しを検討する。	9%
				2017(H29)	11%	15%	未達成		
		家具・装備品製造業の年間製造品出荷額等 (百万円)	5,102百万円 (H25年)	2016(H28)	5,303百万円	5,509百万円	103.88%	家具の製品出荷額は新設住宅着工の影響を受けやすいが、その影響はタイムラグを伴って現れてくると考えられている。そのため、H26の新設住宅着工件数が全国的に前年比マイナスとなった影響を受け、H27の製品出荷額が減少していると思われる。今後も東京国際家具見本市へ出展を支援するなど、家具の産地としてのPRを行い、日田家具のブランド化を推進する。	5,513百万円
				2017(H29)	5,372百万円	5,113百万円	95.18%		
		小売業年間商品販売額 (百万円)	63,499百万円 (H26年)	2016(H28)	平成30年度に調査を実施		-	ドラッグストアの店出による医療品・化粧品や自動車・機械器具関連の小売りの伸びが大きく、他の小売業を引っ張ったものと思われる。今後は、中小店の消費喚起を促す施策を検討する。	66,674百万円
				2017(H29)	65,401百万円	66,429百万円	101.57%		
		市内商店街での購買シェア (%)	16.9% (H26年度)	2016(H28)	平成29年度に調査を実施		-	郊外の大型店の店出による影響から、市内中心商店街での購買シェアは年々落ちており、郊外大型店での消費者の購買行動が定着しつつある。また、日田市外等への買い物も増加傾向にある。今後は商店街と連携し、購買シェアの維持に取組む。	16.9% (H29年度)
				2017(H29)	16.9%	15.5%	91.72%		
		木材・木製品製造業（家具を除く）年間出荷額 (百万円) 【林業振興課】	14,660百万円 (H25年)	2016(H28)	15,380百万円	15,674百万円	101.91%	出荷額の減少は、平成25年の消費税増税（8%）に伴う住宅駆け込み需要の反動による住宅着工数減少の影響を受けたものと考えられる（H29実績値は平成28年経済センサス【調査年27年】の数値）。今後は日田材のブランド化や施設整備により需要拡大を図る。	16,100百万円
				2017(H29)	15,620百万円	12,853百万円	82.29%		
		市の建設工事の市内業者発注件数割合 (%) 【契約検査室】	94.5% (H27年度)	2016(H28)	94.5%	95.6%	101.16%	市外業者は特殊案件に限り入札参加を認めていく。	94.5%
				2017(H29)	94.5%	96.5%	102.12%		
		市の物品の市内業者発注件数割合 (%) 【契約検査室】	79.0% (H27年度)	2016(H28)	79.0%	73.4%	92.91%	市内業者取り扱いの出来ない物品があるため。今後も市内業者優先の推進（周知）を図っていく。	79.0%
				2017(H29)	79.0%	64.6%	81.77%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
3	経営の拡大及び新分野への進出の促進	日田市工業連合会の会員企業数 (社)	226社 (H26年度)	2016(H28)	232社	233社	100.43%	団体会員である木材協同組合、げた組合、建設業協会の会員が減少したことによるもの。今後も異業種交流の促進を支援していく。	235社
				2017(H29)	233社	229社	98.28%		
		既存誘致企業の増設及び新規立地件数 (件) 累	2件 (H26年度)	2015(H27)	1件	3件	300.00%	新規企業の誘致が2件、既存企業の増設が7件あり、目標を達成できた。 今後も、優遇措置の周知を図り、既存企業の増設を推進するとともに、企業誘致総合戦略の策定を行い、新規企業の誘致に取り組んでいく。	5年間で12件
				2016(H28)	4件	3件	75.00%		
				2017(H29)	3件	3件	100.00%		
				3か年累計	8件	9件	112.50%		
		企業誘致等による新規雇用者数 (人) 累	42人 (H26年度)	2015(H27)	20人	53人	265.00%	新規企業の誘致や既存企業の増設による雇用増により、目標を達成できた。 今後も企業が積極的に採用できるような環境整備を図っていく。	5年間で147人
				2016(H28)	22人	43人	195.45%		
				2017(H29)	45人	76人	168.89%		
				3か年累計	87人	172人	197.70%		
		年間観光入込客数	4,503千人 (H26年度)	2016(H28)	4,677,000人	3,831,582人	81.92%	平成28年度の熊本地震に続き、平成29年度は7月の九州北部豪雨や9月の台風の影響を受け、入込客数は減少した。7月のJR久大本線の全線復旧を契機に、観光地日田を積極的にアピールしていく。	5,000千人
				2017(H29)	4,784,000人	3,848,573人	80.45%		
		農産加工の新商品年間開発数 (個) 【農業振興課】 累	－ H28年度新規	2016(H28)	2個	4個	200.00%	6次産業に取り組む農家等を対象に、新商品の開発のための専門的な講師による講座を開催し、5個の新商品の開発を行うことができた。 平成30年度も引き続き、講座を開催し、新商品の開発に取り組んでいく。	5年間で8個
				2017(H29)	2個	5個	250.00%		
				3か年累計	4個	9個	225.00%		
		商工会議所が発行する貿易関係証明発行件数 (件)	10件 (H27年度)	2016(H28)	15件	16件	106.67%	中国を中心とした東南アジアの消費需要の伸びに対応して、輸出に取り組む事業者が増えており、取引件数も増加しているようである。引き続き、販路拡大に向けて貿易証明に係る支援を継続していく。	15件
				2017(H29)	15件	35件	233.33%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
4	創業の促進	日田市創業支援事業計画に基づく年間創業者数（件）	8件 (H26年度)	2016(H28)	年間13件	26件	200.00%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等が考えられる。 今後も引き続き、創業気運を醸成するためのセミナーや相談支援を強化する。	年間13件
				2017(H29)	年間13件	12件	92.31%		
		日田市ビジネスサポートセンターの支援による創業者数（件） 累	8件 H28年6月開設	2016(H28)	26件	16件	53.85%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等が考えられる。 今後も引き続き、創業気運を醸成するためのセミナーや相談支援を強化する。	5年間で65件
				2017(H29)	13件	5件	38.46%		
				3か年累計	39件	21件	53.85%		
		開業資金の新規融資件数（件数） 累	1件 (H26年度)	2015(H27)	2件	1件	50.00%	九州北部豪雨による風評被害等による、一時的な創業気運の衰退等により、H29年度の開業資金利用者はゼロであった。 平成30年度から、創業希望者が利用しやすいよう自己資金要件を廃止した。	5年間で10件
				2016(H28)	2件	3件	150.00%		
				2017(H29)	2件	0件	0.00%		
				3か年累計	6件	4件	66.67%		
		女性若者起業支援資金の新規融資件数（件数） 累	7件 (H26年度)	2015(H27)	10件	4件	40.00%	平成29年度は飲食業1件、美容業1件の実績であった。引き続き金融機関、支援機関と連携した創業支援を行う。	5年間で50件
				2016(H28)	10件	3件	30.00%		
				2017(H29)	10件	2件	20.00%		
				3か年累計	30件	9件	30.00%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
5	人材の育成・確保と 事業環境の整備	ジョブカフェおおいた日田サテ ライト登録者の市内企業への就 職者数 (人) 累	59人 (H26年度)	2015(H27)	80人	70人	87.50%	主に有効求人倍率が上昇し、雇用情勢が好転したこと により、登録者が減少したことによるものであり、今 後も引き続き各種広報媒体によるサテライトの広報活 動や「企業合同面談交流会」の開催等により、企業情 報を積極的に提供し、新規登録者、市内就職者の増加 を図る。	5年間で480人
				2016(H28)	100人	49人	49.00%		
				2017(H29)	100人	59人	59.00%		
				3か年累計	280人	178人	63.57%		
		ハローワーク日田管内の高等学 校卒業者で就職希望者の管内就 職率 (%)	35% (H27年度)	2016(H28)	40%	35.00%	87.50%	大手製造企業が多くの新卒者を雇用したことにより、 一時的に率が上昇したものと思われる。 今後も、高校生を対象とした「ひた・くす合同企業説 明会」やキャリア教育を行う「ひたを担う人材育成事 業」により管内就職につなげていく。	40%
				2017(H29)	40%	42.46%	106.15%		
		求職者資格取得支援事業利用者 の市内就職者数 (人) 累	— H27年度新規	2015(H27)	15人	10人	66.67%	求職者の資格取得者数は18人と増加したが、市外就職 者や未就職者も多く、目標を達成できなかった。ハ ローワークへの登録が条件であることから、今後も引 き続きハローワーク窓口での周知をお願いするととも に、ビジネス合コンで周知を図る。	5年間で75人
				2016(H28)	15人	5人	33.33%		
				2017(H29)	15人	10人	66.67%		
				3か年累計	45人	25人	55.56%		
		技能検定の年間合格者数 (人)	152人 (H26年度)	2015(H27)	160人	113人	83.13%	原因としては若年技能者の減少により受験者が減った ことが考えられる。対策としては若年技能者以外の未 取得者に対し、技能検定の受験を呼びかける。	160人
				2016(H28)	160人	119人	74.38%		
				2017(H29)	160人	116人	72.50%		
		日田共同高等職業訓練校の年間 入学者数 (人)	3人 (H26年度)	2015(H27)	3人	3人	100.00%	今後も引き続き業界内で呼びかけを行うとともに、広 報ひたやホームページ等で当該事業の周知を図る。	5人
				2016(H28)	5人	6人	120.00%		
				2017(H29)	5人	6人	120.00%		
		ハローワーク日田管内の育児休 業年間取得者数 (人)	173人 (H26年度)	2015(H27)	190人	192人	101.05%	市内企業のワークライフバランスの推進によるもので あり、今後も引き続き、ワークライフバランス及び働 き方改革の推進に関する周知を図る。	190人
				2016(H28)	190人	202人	106.32%		
				2017(H29)	190人	198人	104.21%		

日田市中小企業振興計画の目標値の達成状況(平成29年度)

	基本方針	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	実績値	達成状況	達成・未達成理由及び今後の取組み	最終目標値 (H31年度)
5	人材の育成・確保と 事業環境の整備	U I ターンによる年間就職者数 (人) 累	－ H28年度新規	2016(H28)	10人	8人	80.00%	売り手市場を背景に、大都市圏での大手企業への就職が人気を集めていることが影響していると考えられる。今後、市外へ流出した人材への地元企業の就職情報等の発信手段について検討したい。	5年間で70人
				2017(H29)	20人	6人	30.00%		
				2か年累計	30人	14人	46.67%		
		日田市シルバー人材センターの 就業率 (%)	64.0% (H26年度)	2015(H27)	64.00%	64.60%	100.94%	新たな就業先が確保できなかったことにより減少した。働き方改革により、高齢者雇用のニーズは高まると考えられることから、今後もセンターと連携を図りながら体制の充実に取り組んでいく。	70.00%
				2016(H28)	70.00%	70.70%	101.00%		
				2017(H29)	70.00%	65.90%	94.14%		
		若い世代の結婚・子育ての希望 が実現した場合の合計特殊出生 率 (人) 【地方創生推進課・こども未来課】	1.76 (H25年度)	2015(H27)	1.76	1.79	101.70%	H29の確定値は未発表であるが、5年間平均での数字も着実に増加してきていることから、子育て世代への支援の成果が出てきているのではないかと考えられる、今後も引き続き、必要な支援を提供していく	2.1 (H42年度)
				2016(H28)	1.76	1.79	101.70%		
				2017(H29)	1.76	1.84	104.55%		